

海―志津川湾

志津川湾は三陸海岸の南端の近くに位置しています。志津川湾は海岸から湾口まで 8 キロメートルにわたって伸びており、湾口の幅は 6 キロメートル、深さは最大 50 メートルです。湾には入江や岩礁、砂浜、干潟が点在しています。冷たい親潮と、暖かい黒潮、そして津軽暖流の三本の潮流がこの湾で合流します。この合流が、志津川湾の海に、広大な海藻の森をはじめとする多種多様な海洋動植物が生息している理由です。

志津川の自然の恵みは、南三陸の主要産業のひとつである商業漁業を支えています。よく獲れる海産物には、カキやギンザケがあり、またワカメも商業的に収穫されます。

年間を通じて多種の魚が様々な時期に湾にやってきます。クチバシカジカとダンゴウオは寒い北の気候から、ハゼとマサバは南から旅してきます

南三陸・海のビジターセンターでは、海藻を使った楽しい工作やカヤックなど、志津川湾に関連するさまざまな教育活動や野外活動を開催しています。